



962号
2023年8月15日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行



←中国地本HPへ
PC・スマホ等から
この情報が閲覧可！



メールはこちら→

2024年3月期 第1四半期の経営成績 (億円)

	日本郵政グループ	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命
経常収益	28,479	8,029	6,434	15,937
前年同期比	1,296 4.8%	△533 △6.2%	1,946 43.3%	△151 △0.9%
経常利益	1,730	84	1,184	432
前年同期比	103 6.4%	△189 △69.3%	△19 △1.6%	297 221.50%
四半期純損益	△85	93	868	210
前年同期比	△1,271 -	△203 △68.4%	△19 △2.2%	94 80.90%

2024年3月期 通期業績予想

経常利益	6,200	150	4,700	1,400
1Q進捗率	27.9%	56.0%	25.2%	30.9%
当期純利益	2,400	70	3,350	720
1Q進捗率	-	134.2%	25.9%	29.2%

特別損失で赤字転落

決算の概要

8月10日、2024年3月期第一四半期の決算が発表された。

各社黒字を確保したが、郵政Gは赤字転落した。

主因は、楽天G株式の特別損失、約850億円だ。

郵便・物流事業

取扱数量が、総計で3.3%減少しており、ゆうメールが9.9%減となった。ゆうパックが2.3%増

加し、ゆうパケットは6.8%増加した。

郵便局窓口事業

不動産事業の賃料収入は、増加したが、保険・銀行手数料等が減り、減収となった。

営業利益は、前期比33億円減益の4,173億円。

国際物流事業

営業損益が前期比32億円減の8億円。減収・減益の厳しい状況となった。

日本郵便

営業利益は前期比171億円減の96億円。四半期純利益は203億円減の93億円。

ゆうちょ銀行

連結業務純益は、前期比1,399億円減の△479億円。四半期純利益は前期比19億円減の88億円。

臨時損益として、株式や不動産ファンド等のリスク調整による売却益が、前期比1,379億円増加。

かんぽ生命

基礎利益は前期比45億円減の576億円。四半期純利益は94億増の210億円。保有契約は減少している。

終戦から78年目

政府は8月15日を「戦没者を追悼し平和を祈念する日」として終戦の日と称している。

1945年(昭和20年)8月15日、天皇がラジオを通じて、国民に戦争で負けた事を表明した日である。

言に調印した9月2日が主に終戦の日である。日本と海外では、この様な認識の違いがある。

当時の日本が戦争を始めた要因として、軍部の暴走や外国から資源の禁輸、国内資源不足や極端な精神論などが挙げられる。

しかし、一部の権力者の暴走がある事は、歴史から見ても明らかだろう。また日本は、唯一の原子爆弾の被爆国であり、戦争だけでなく、原爆の恐ろし

さを知る国である。空襲や原爆で、大切な人を失っただけでなく、被爆や後遺症はその後の人生に影響を与えた。

78年経過しても苦しんでいる国民がいる事を私達は忘れてはならない。残念ながら、現在も、戦争中の国はある。

権力闘争の内戦だけでなく、核保有国が、軍事作戦として、他国に進軍している状況さえ起きている。

国際平和と安全維持を目的とする国際連合が機能不全となっているだけに事態は深刻だ。

国際社会は難題であっても、この課題を乗り越えてこれらの戦争を停戦させなければならぬ。戦争が続く限り、悲劇の連鎖は終わらない。一日でも早い終戦を願いたい。



【原爆ドーム】

今後の予定

- 9月12日(火) 17:00~
第11回呉支部執行委員会
支部事務所

次号は 9月 5日 予定